



使用率レポート

- [使用率レポート \(1 ページ\)](#)
- [レポートを作成 \(3 ページ\)](#)

使用率レポート

Utilization Reports 機能を使用して、レポート経由で使用率データをエクスポートします。**Utilization Reports** セクションでは、スペースの使用状況アプリケーション で使用率レポートを作成、表示、およびダウンロードできます。以前に作成されたレポートが、場所の範囲、レポート期間、完了ステータス、およびダウンロードアクセスとともに一覧表示されます。

主な機能

- 選択したロケーションおよび期間のエクスポート可能な使用率データを生成するには、新しい使用率レポートを作成します。
- 既存のすべてのレポートを、主要なメタデータ（レポート名、ロケーション範囲、レポート期間）とともに単一のリストで表示します。
- **[Last completed period]** を使用してレポートの準備状況を追跡し、出力が利用可能かどうかを確認します。
- レポート行エントリからオンデマンドで直接レポート出力をダウンロードします。

既存のレポートを表示することも、新しいレポートを作成することもできます。

図 1: 使用状況レポート

Report Name	Locations	Report Type	Last completed period	Download	...
Report 2497		2026-01-01 - 2026-02-04	N/A	Download	...
Report 2465		FO12/5th 2023-12-31 - 2024-01-30	N/A	Download	...
Report 2473		2026-01-27 - 2026-01-30	N/A	Download	...
Report 2471		FO12/2nd 2026-01-19 - 2026-01-26	N/A	Download	...
Report 2463		FO12/4th 2025-12-01 - 2025-12-31	N/A	Download	...
Report 2453		Occupancy 2025-09-01 - 2026-01-12	N/A	Download	...
Report 2451		FO12/1st 2025-11-01 - 2025-11-30	N/A	Download	...
Report 2163		WEEKLY	02/01/26	Download Recent	...
Report 2162		WEEKLY	02/01/26	Download Recent	...

[Utilization Reports] ページには、次の詳細が含まれます。

表 1: 使用状況レポート

フィールド	説明
レポート名	レポートエントリを特定し、リンクされた名前 (Report 2497 など) を選択して詳細を開きます。
ロケーション	レポートに含まれているロケーション範囲を表示します (多くの場合、キャンパス/建物/フロアのパスとして表示されます)。
レポートタイプ	レポートの対象となるレポートのタイムフレームを表示します (たとえば、2026-01-01 ~ 2026-02-04 などの日付範囲を表示します)。
最終完了期間	レポートが正常に完了した最新の期間を表示するか、完了した出力がまだない場合に N/A を表示します。

フィールド	説明
Cisco IOS XE SD-WAN リリース 16.12 以前の	クリックすると、レポートエントリ用に生成されたレポート出力ファイルがダウンロードされます。
その他のオプション (...)	[Edit] および [Delete] オプションが含まれます。

レポートの表示

既存のレポートを表示するには、**[Report Name]** をクリックすると、使用率データが表示されます。次の詳細を確認します。

- ワークスペース
- 日時
- インターバル開始時間(ローカル)
- 建物
- フロア
- キャパシティ
- ピーク時の人数

次の追加タスクを実行します。

- **[Edit]** : クリックしてレポートを編集し、再生成します。
- **[Download]** : クリックしてレポートをダウンロードします。

レポートを作成

[Create New] を使用して、ロケーション範囲とレポート期間を選択し、新しい使用率レポートを定義します。

[Utilization Reports] 機能を使用すると、特定の場所と期間の使用率レポートのエクスポートを作成し、完了を追跡し、結果をダウンロードしてオフラインで分析および配信できます。

新しいレポートを作成するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** **[Utilization Reports]** ウィンドウで、**[+ Create New]** をクリックします。**[Report Parameters]** ウィザードが表示されます。

- ステップ 2** **[Report Level]** セクションで、**[Buildings]**、**[Floors]**、または **[Floors]** のいずれかをクリックして選択します。
- ステップ 3** **[Next]** をクリックします。
[Locations] セクションが表示されます。
- ステップ 4** 左側のペインで、階層を展開して目的のロケーションに移動し、対応するチェックボックスをオンにします。

(注)

または、左側のペインで、目的の **[Building]**、**[Floor]**、または **[Room]** を検索することもできます。

選択したロケーションがペインの右側に表示されます。

- ステップ 5** **[Next]** をクリックします。
[Date Range] ペインが表示されます。
- ステップ 6** **[Select Date Range]** セクションで、占有率レポートの日付範囲を指定するか、頻度を選択することができます。
- a) **[Specify Date Range]** : 一定期間のレポートが必要な場合は、このオプションを選択し、日付ピッカーから **[Start Date]** と **[End Date]** を選択します。
- (注)
日付は、選択したロケーションのローカルタイムゾーンに基づいています。
- b) **[Recurring Report]** : 定期的な占有率レポートを生成し、次のいずれかのオプションを選択して頻度を指定する場合は、このオプションを選択します。
- **[Weekly]** : このレポートには、最後に完了した週（日曜日から土曜日）のデータが含まれます。
 - **[Bi-weekly]** : このレポートには、最後に完了した 2 週間のデータが含まれます。
 - **[Monthly]** : このレポートには、最後に完了した月のデータが含まれます。
- c) **[Reporting Time Interval]** を指定するには、**[15 minutes]**、**[30 minutes]**、または **[60 minutes]** のいずれかを選択します。

- ステップ 7** **[Next]** をクリックします。
[Report Filters] ペインが表示されます。

ステップ 8 **[Report Filters]** ペインでは、占有率レポートの次の基準を指定できます。

- a) **[Filter By Specific Day(s)]** では、特定の曜日または **[All Days of the Week]** を選択できます。

(注)

少なくとも 1 つの曜日を選択する必要があります。そうでない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

Atleast one day must be selected to generate a report.

- b) **[Filter By Specific Hours]** では、**[Full Day (24 Hrs)]** を選択するか、**[Start Time]** と **[End Time]** を指定することができます。

- c) [Filter By Capacity of Room(s)] では、目的の部屋の収容人数を選択します。

(注)

少なくとも1つの部屋の収容人数のグループを選択する必要があります。そうしていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

At least one capacity group must be selected to generate a report.

- d) データがない期間のエントリを除外するには、[Skip Empty Rows] を選択します。

ステップ 9 [Create Report] をクリックします。

新しいレポートが生成されます。

次のタスク

[Utilization Reports] ウィンドウでレポートの詳細を表示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。